

## 資産運用レポート：その悪材料は買いか

## 1. はじめに

カルビーは、国内のスナック菓子市場で5割以上、ポテトチップスにいたっては2/3のシェアを持つ独占企業です。

昨年の12月、その同社株が相場に逆行安しました。上場以来、株価は堅調に推移しており、75日移動平均線を大きく割り込んだのははじめてです。原因は、いくつかの悪材料が重なったためでした。

- ポテトチップスのガラス片混入による自主回収のニュースが嫌がられたこと
- 英社の製菓事業買収についてのウワサが流れ、同社も否定しなかったこと
- 衆議院の解散後、証券株や不動産株の買われる金融相場となり、一時的に物色の圏外に置かれたこと

一般論として、悪材料の発生は「売り」です。また、株価が75日移動平均線を大きく割り込めば、チャート上でも売り時です。しかし、このような強い収益基盤を持っている銘柄に関しては、悪材料の発生により、株価の下がった局面が投資チャンスとなりえます。

今回の資産運用レポートでは、悪材料により株価の下がった銘柄を取り上げます。

## ★カルビー 株価チャート（週足）

